

から遠ざければ良い事です。

東日本大震災の復興住宅も津波の届かない地区に建設しています。何故、判りきったこの対策を震災前にやらないのでしょうか？

近い内に来ることが判っている自然災害に対してま  
たしても力で対抗しようとしています。愚かな西洋文  
化の真似をまだやっているのです。もうボチボチ自然  
と共生する日本式の対策に戻るべきです。特に国や地  
域の大方針に決定権を持つ政治家たちは。

昔、日本人は海近くの低地には住んでいなかった。  
海拔0メートルに近い所に住居を移し始めたのは近世  
になってからでしょう。江戸も大阪も、おそらく名古屋  
もそうだったと思います。

地震国と言われる日本で、海岸近くに住む愚は昔の  
人は判っていました。戦国時代も、山城は作っても海  
に面した所には居城はありません。津波の恐れのある  
所に住むための城を構える武将はいなかったというこ

とです。

東北の被災地の、古くからの神社も津波の届かない  
高台に創建されていました。（東北地方の津波被害を  
受けた神社のほとんどは後世の創建です）

日本は四方を海に囲まれていますから海洋民族と錯  
覚している人もいますが、それが間違いの元です。元  
々は平野の広がる山裾に住居を構えて暮らしてしまし  
た。日本人は山の民なのです。

江戸時代から便利さだけを求めて大都市に人口が集  
中するようになり、埋め立て技術の発達で自然災害の  
恐ろしさに目をつむり、埋め立て地に人々が住むよう  
になったのです。

自然を克服できるという人間の傲慢さが度重なる津  
波被害を受ける原因なのです。何事も歴史に学ぶとい  
う謙虚さは、科学の力で解決する事が出来るという西  
洋文明の傲慢さを刷り込まれたわが国の指導者と学者  
のために、またしても失われてしまいました。